

みんなで語る会報告書

- 開催日時：平成29年7月31日（月）（19時00分～20時30分）
- 開催場所：指宿校区公民館
- 参加者数：【市民】27人【市職員】市長ほか13人【総計】41人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 市職員自己紹介
- 4 意見交換
- 5 地域代表あいさつ
- 6 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

なのはな館の進捗状況を教えていただきたい。

<市長>

県は、市がどうしたいのかということを出してくれということであった。

市民会館の建設を含めて、県と協議をしている。間もなく活用方法をお示しできるのではないかと思っている。このように長くなったことについては、本当に申し訳なく思っている。

【市民】

サンシティホールを人工芝化することによって、使用方法について規制がでてくるのか。

<市長>

人工芝化することで、利用する制約はこれまでと全く変わらない。

むしろ、利用の頻度としては高まるだろうと思っている。

<教育部長>

人工芝化ということで規制はしない。ゲートボール、ソフトテニスの練習、サッカー、フットサル、いろんな競技で活用できる人工芝を目指している。

【市民】

市民体育祭について、職場リレーも大事だが、各校区の運動会で集落対抗をして、その1位2位が市民体育祭に出たら盛り上がるのではないかと。

温泉祭について、踊り連を各校区から2、3チーム出すような体制をとってもらえたら、参加する人も見に来る人も増えるのではないかと。

<市長>

体育祭は、みんなが参加して、みんなで楽しむという意味があると思う。この件についてはぜひ、来年度へ向けて考えさせていただきたい。

スウェーデンリレー方式を採用してみたら面白いのではないか。

<教育部長>

市民体育祭の職域対抗リレーは、速さを競うという形が出てきて、参加チームが少なくなってきた。各チームの持ち味を生かしたリレーが行われ、のぼり旗を持ったり、職場で使われる道具を持ったりするチームが出てきて、昨年度はたくさんのご参加をいただいた。

<産業振興部長>

温泉祭について、実行委員会の中で、参加者数を増やす努力をしていきたい。

【市民】

サッカー場建設について、基本構想に基づく陳情が不採択になったが、財政状況を踏まえ、この規模のサッカー場を建設する必要があると考えるか。

<市長>

人口が減り、税収が減るのであれば、スポーツによる地域おこし、交流人口を増やしたいと考えている。このサッカー場の建設は24億円といわれているが、その8億円前後は土地開発公社の借金を肩代わりする形にした。土地代は、土地開発公社が今まで銀行から借りて、その利息を払い続けていたので、その土地を今買ってサッカー場として活用しないと、ずっと借金だけ残っていく。

このサッカー場建設にはいろいろな補助金があり、実際の負担は一年間に4千万円くらい。財政的なシミュレーションをして、これだったらできるという規模にしている。

【市民】

地熱開発の事業について、事業が凍結されたことによって、市はどのように得をしたのか、損をしたのかを示してほしい。

報道された内容を見て、市が進める事業に対し、反対と言うのは簡単である。もう少し、指宿のことを考えて勉強してほしい。

<市長>

地熱の恵み活用プロジェクトは100%補助事業であったが、その補助率は下がっていく。自然エネルギーを活用したエネルギーの地産地消は、三反園知事の政策の一つの柱であった。

議会との確執については、私に対する批判であると謙虚に承りたい。これまで足りなかったものを含めて、今後どのように事業を展開するのか、今後一つずつ課題の解決を図りたいと思っている。

【市民】

サッカー場建設に関する経済効果は2億5千万円だと聞いたが、この試算は正しいのか。

<副市長>

統計学的には係数があって、それを掛けて経済効果を算出するが、指宿市の場合は、観光客、日帰り、宿泊を含めて数千人規模でどの程度ここにお金を落とすか、そういった効果をヒアリング等々で把握している。実際にヒアリングに基づいたものを使って経済効果を試算しているということで、係数に基づかないで試算しているので、かなり信憑性が高いものであると思っている。

【市民】

まちなみ整備について、集落道とか、幹線道路、だいぶ良くなってきていると思うが、農免道路に

ついて、歩道設置の考えはないか。

<農政部長>

農免道路自体は、農業用の道路ということで規格されたので、歩道設置はできない構造になっている。今後、具体的に場所を教えてください、それについて設置可能かというのは検討させていただきたい。

<市長>

私も現場を確認したい。その方がいろいろ意見交換ができると思う。

【市民】

文化財の松尾城施設について、フラットの1mくらいでいいですので、踏切の設置を要望します。

<市長>

以前、JRさんと協議した。事故防止のためフェンスを設置したとのことであった。

そういう意見があったことを伝えて、今後どうしたらいいかということを検討させていただきたい。

【市民】

農業について、先行投資が必要ではないか。

オクラの次に続くような作物の研究ができるように、補助金等を考えてほしい。

<市長>

その事業というものについて、取り組めるように検討していきたい。

【市民】

サッカー場建設について、賛成陳情3件、反対陳情1件、署名活動もあったが、議会は反対しているが、議員の皆さんは市民の声を聴いているのかなと思うところがある。

<市長>

批判が的を射たものであれば、その事業は見直さなければならない。

しかし、市民の多くがこの事業をやってほしいという思いがあるならば、大胆に展開していきたい。

今後、丁寧に説明をしながら、この事業の推進に努めたいと思う。

地熱の活用についても、経済効果というのは計り知れないものがある。ただこれは、地域の理解と議会の方々、議員の方々の理解が必要であると思っている。

【市民】

ゆるやかにつながる小さなまち・むらづくりについて、教えていただきたい。

<市民生活部長>

市では、集落支援員を2名雇用し、支援員が地区に出向いて行って、各地域が抱える課題解決のお手伝いをする事業である。

地域によってこういった課題がある、こういった課題を解決したいと、そのためにはこういった組織が必要だと自らが真剣に取り組んでいただいて、市としてもそれには協働で支援をしたいというものである。

<市長>

新たな地域づくりをやっていかないと、持続、継続可能な地域はなかなかできない。

公民館活動が盛んである、婦人部の活動は盛んである、子ども会が盛んである。それが学校の子ども

たちの育成にもつながっている。

今後、公民館活動を含めてどういう形で集落をまとめていくのか。新たなコミュニティの在り方について、公民館長さん方との話し合いのその場を作りたいと思う。